

2019～2020 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは世界をつなぐ

●会長 内田 信行

●幹事 中島 祐爾

No.1694 令和 02 年 02 月 12 日 第 28 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町 4 の 2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

■点鐘

■国歌斉唱「君が代」

■ロータリーソング「手に手つないで」

■会長の時間

(会長 内田信行)



『バレンタインデーの心構え』

もうすぐバレンタインデーです。これについてお話ししようかと考え、由来なり歴史を調べてみましたがこれといっておもしろそうなのがありませんでしたし、いろんな説があつてどれが正しいのか、よくわかりませんでした。お話ししようかと思ひます。

1958年頃から流行りだしたのは、都内のデパートで開かれたバレンタインセールでチョコレート業者が『バレンタインにはチョコを贈ろう!!』と、広告を出し、キャンペーンを行ったのが発端だと言われているそうです。

最近では、職場の上司や同僚など本命ではない人に渡す『義理チョコ』同性の友達同士で贈りあう『友チョコ』少し奮発してあえて高価な物を自分用に贈入する『ご褒美チョコ』が、トレンドのようです。少なくともチョコレートがどうのこうの言うのは日本だけのようですし、女性から積極的に告白をするというのも、日本人だけです。このバレンタインにこしかけ、ハロウィンなどもなくすべき悪習なのです。私が、チョコを貰えないからひがんでる訳ではありません。元々愛情とか好意を、女性の方から直接伝えるなどもってのほかです。たった500円そらのチョコを『義理チョコ』だと、わかっているのに、ニヤニヤして喜んでいる場合ではありません。

みなさんも少し反省してください。それに比べて女性はどうでしょう。

女性が男性にねだる物といえば、アクセサリーやブランド物と、チョコレートの比ではありません。何べんも言いますが、500円のチョコレートがとんでもなく高い物にあたるということです。女性の罫にはまる前に、毅然とした態度でギフトを断るくらいの気合いをもって、その日を迎えてください。

バレンタインデーを前にして男としての心構えをお話しましたが、夜の街で両手いっぱいチョコをニヤニヤして貰っている私を見かけても、知らん顔をして見て見ぬふりを願ひしておきます。

以上、会長の時間でした。

■幹事報告

(幹事 中島祐爾)



1) 硯川昭一ガバナーエレクトより、2020～2021年度地区研修・協議会の案内。

開催日 2020年4月5日(日)

会場 熊本城ホール

2)

和歌山東南RCより、4月22日(水)訪問に関しての挨拶状。

3)

瀧満ガバナー、地区管理運営部門 堀川貴史部門長、RLI委員会 長嶋弘貴委員長より、RLIパートII(2)の案内。

日時 2020年3月20日(金/春分の日) 9:20～16:45

場所 ホルトホール大分

会費 3,000円(クラブ負担)

※当クラブのRLIパートI(1)

修了者…松本一也会員、福井学会員

4)

特定非営利活動法人チャイルド・ファンド・ジャパンより、チャイルド(メロディ・オブシャナ、マーク・ローレンス・サンブ)の手紙。

5)

第8回定例理事会報告。

■ロータリー情報の時間

(ロータリー情報担当委員 佐野茂)



19年規定審議会の改正については、既に当クラブの定款、細則を作成し、本年の年次総会日において確定したところでありますが、本来ですと、その時点で定款の削除される条文を申し上げるところでございましたが、私、急病で欠席を余儀なくされまして今日まで申し上げておりませんでした。

本日の情報の担当は、鈴木委員長の担当で、私は次回の担当でしたが、次の例会は夜の例会で、私、夜の外出はしばらく自重したいと思ひおまして、欠席しますので、本日鈴木さんが情報をされた後に、鈴木さんのご厚意によって、多少時間をいただいて伝達いたしたいと思ひます。

実は、従来のロータリークラブ定款の第11条職業分類の第2節

において、「制限」という見出しで、

「5名またはそれ以上の正会員がいる職業分類からは、正会員を選出してはならない。

ただし、会員数が51名以上のクラブの場合は、同一職業分類に属する会員がクラブ正会員の10パーセントを超えない限り、その職業分類の下に選出することができる。

引退した会員は、その職業分類の下にその職業分類に属する会員総数に含めないものとする。

選出によってクラブ会員数が職業分類の制限を一時的に超えることになっても、クラブの移籍会員または元クラブ会員、または理事会によって定義されたローターアクターあるいはRI理事会によって定義されたロータリー学友の職業分類は、正会員に選出されることを妨げるものであってはならない。

会員が職業分類を変更した場合、クラブは、これらの制限にかかわらず、同会員の会員身分を新しい職業分類の下に継続することができる。」

以上が従来職業分類による会員数の制限でしたが、今回の規定審議会において、国際ロータリー理事会の提案として「制限」を廃止することが提出審議されました。

審議の冒頭の発言として、日本からの国際ロータリー理事会理事になっている三木明氏から次のような発言がありました。

「本制定案の目的は、クラブがバランスの取れた会員構成を保つために必要な組織規定文書の言葉を維持しつつ、ある一つの職業分類の下にクラブに入会できる会員数の制限を削除することです。現在クラブでは、同じ職業分類に属する会員数において制限がありますが、多くのクラブがその職業分類に下部分類を作ることと、この制限をくぐり抜けています。

ポール・ハリスが言われた「ロータリーは社会の変化に対応しなければならぬ」に対応することが、ロータリーの発展のために必要不可欠です。

すなわち、職業分類による会員数の制約は全くなくなったということです。審議結果は、403対108で採択されています。新会員獲得活動に若干幅広くなったのではないのでしょうか。

■委員会報告

(姉妹クラブ担当委員 古庄浩二)



～ 和歌山東南RC・宇佐RCの来熊について ～
令和2年4月22日(水)～24日(金)

■委員会報告

(青少年奉仕担当委員 宮川義行)



2月18日20時から中央公民館でアクトの例会が行われます。参加できる方はよろしくお祈りします

■出席報告

(出席・プログラム担当委員 松岡泰光)



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率(%)
01月29日	43 (免6) 37	25	8	33	86.84
02月12日	43 (免5) 38	29			76.31

☆出席免除

01月29日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲 河岸彦治
草村安宏 佐野 茂
02月12日 住江正治 島村徹男 鷲山法雲 河岸彦治
草村安宏

☆欠席者(4名)

01月29日 岡本千代門 杉本整哉 山本浩之 矢野敬之

今度の100%出席の日は 02月26日です。

■スマイル

(親睦・スマイル担当 出先教明)



◎古田哲朗 10,000円



誕生祝いありがとうございました。2月16日で47才になります。

◎宮川義行 6,000円



雨の中皆さんお疲れ様です。1月1日が大切に感じています。4日の夕方、2年程美容針をしてきている友人のお父さんが、大津でトラックに巻き込まれて亡くなりました。バイクに乗っていました。昨日は仕事の付き合いのあった32才の女性がガンで亡くなりました。コロナウィルスでも多くの命が失われています。今、目の前に居る友人や家族も、明日、又会えるとは限りません。自分かもしれません。悔いのない1日1日を送りたいと思います、皆さん頑張りましょう。

◎内田信行 5,000円



2020年は打倒松本と思っていましたが返り討ちになってしまいました。でも楽しいゴルフをさせていただきありがとうございました。今年はまだ始まったばかりです。又挑戦します。

◎沼田敏雄 5,000円



やっと本年最初の北島三郎公演が大坂新歌舞伎座にて5月に開催されます。まだまだ元気な歌声が聞かれます。

◎出先教明 3,000 円



今日の卓話はよろしくお願ひいたします。人前で話すのは苦手です。緊張しています。

◎小畑成司 2,000 円



ちょっぴり悔しいですが韓国映画の Parasite が初めて英語圏以外の国の映画でアカデミー賞作品賞を受賞しました。おめでとうございます。以前から韓国映画はかなり観ていましたがなかなかの物ですよ。

これを機に 1 回観てみてください。

◎松岡歩紗実 1,000 円



今年はインフルエンザひもかからず毎日元気で過ごしている事に感謝してスマイルします。



■会員卓話 (出先教明)

- 1973 昭和 48 年 10 月 7 日福岡県福岡市で父・出先幸之進、母・規江の長男として生まれる
- 1980 昭和 56 年 6 才父の転勤で熊本市に引越しをする
熊本市立画図小学校に入学
- 1986 昭和 62 年 12 才 画図小学校を卒業
出水南中学校に入学
- 1989 平成元年 15 才 出水南中学校を卒業
熊本商科大学附属高校に入学
- 1992 平成 4 年 18 才 熊本商科大学附属高校を卒業
熊本経理専門学校に入学
- 1994 平成 6 年 20 才 熊本経理専門学校を卒業
愛知県の愛知電機製作所も就職
- 1995 平成 7 年 22 才 愛知電機製作所を退職 (12 月)
- 1996 平成 8 年 23 才 エース産業株式会社に就職 (1 月)
妻・富貴と 4 月 6 日に結婚
熊本東南 RAC 入会 (春ごろ?)
長女・真衣が生まれる
- 1998 平成 10 年 25 才 長男・竜介が生まれる
- 2001 平成 13 年 28 才 次男・公介が生まれる
- 2004 平成 16 年 30 才 熊本東南 RAC 卒業 (6 月)
- 2004 平成 20 年 35 才 エース産業の社長に就任

アクトからロータリーへ

父の会社のエース産業に入社して何もわからない状態で、当時の会社の先輩からアクトに入るよう勧められ入会しました。

おそらく、結婚の時期と重なっていたと思いますが、例会や飲み会、泊りがけの研修があると嫁は私を疑い、何やら変な宗教か、女性との遊びではと言われていました。携帯電話も持ってなかったと思いますので連絡手段がなく、ポケベルがなりっぱなしでした。それでもアクトの在籍中にクラブの会長、地区役員などをさせていただき充実した 7 年間でした。

当時のメンバーも、松本会員の娘さん、沼田会員の娘さん (先日の家族会で久しぶりにお会いできました)、内田会長の会社の社員さんなど、20 代の私の貴重な方々と出会うことができました。そして今でもお付き合いいただいているこの東南ロータリーの方々帰ってこられて良かったと思っていますし、まさか自分がロータリアンになれるとも思ってもみなかったという思いも事実です。

せっかく入会したのだから何かをしたいなあという思いはありますが、まだまだ仕事とロータリーの両立のバランスがいまいちつかめません。生涯ロータリーと思うのであれば、自分のペースで一つ一つ確かめながら、出席が第一に考えていこうと思います。どうぞ、これからも宜しくお願ひ致します。

■点鐘

編集者 沼田敏雄

新しい平和拠点をつくる

投稿日: 2 月 4, 2020

～広島・長崎爆心地中間点上毛町～未来へつなぐ平和の架け橋事業～

寄稿者: 錦織 亮雄 (広島東南ロータリークラブ、創立 60 周年記念事業実行委員長)



(左から) 松井一實氏 (広島市長)、坪根秀介氏 (上毛町長)、田上富久氏 (長崎市長)

広島東南ロータリークラブは、被爆都市広島を中心部をテリトリーとするクラブとして 60 年前に創立されて以来、多様な平和推進活動に力を入れてきました。創立 5 年目には、「知客寮」(チカクリョウ) という原爆孤児の帰郷のための家をつくりました。1982 年にはパールハーバー・ロータリークラブ (米国ハワイ州) と姉妹縁組を結び、「ヒロシマ」と「パールハーバー」という戦争体験の恩恵を超えて交流や共同奉仕活動を続けています。最近では、広島の被爆樹木の保護や苗などを各地に配布する平和運動の支援にも力を入れています。

ロータリーでの平和推進活動は、多くの難しい側面をもっています。「平和」という誰もが望む大きく深い命題では、その到達へ

の道筋は多様であり、到達点さえも定かではありません。それゆえに活動は、形骸化したり、抽象的であったり、持続性に欠けたりする恐れがあったり、夢想的な平和原理主義に陥って孤立してしまう場合もあります。実践的な平和活動は、いずれも小さな源流の一滴であり、祈りのように純粹ですが、その効果には常に不安とむなしさがつきまといます。

特に、広島や長崎での平和推進活動は、難しい呪縛が伴います。人類史で初めて原子爆弾の惨禍に遭った広島と長崎は厳然たる平和拠点ですが、核廃絶運動の先頭に立つ絶対的使命感を持っているがために、「平和」という命題にとってあまりにも特別な場所です。広島・長崎は75年間核兵器の非人道性と「核なき平和」を訴え続け、75年間核兵器は使われていませんが、世界は平和ではなく「核なき非平和」が蔓延しています。現在、「核なき非平和」の主犯が戦争暴力に加えて貧困・疾病・テロ等となっても、広島・長崎は「核兵器の廃絶が恒久平和をもたらす」と頑強に訴え続ける使命があり、その平和理念は非現実化の傾向にあります。75年間核兵器が使われることがなかったことには核兵器の抑止力が無視できなくとも、「核兵器は絶対悪であり抑止力などあってはならない」と主張し続けなければならないのです。

被爆地ではない平和拠点を2020年は広島・長崎への原爆投下から75年になり、原爆の後「75年は草木も生えぬ」と言われた節目の年です。この節目に重なるクラブ創立60周年にあたり、その記念事業として意味ある平和推進事業をと考え出したのが、被爆地としての呪縛を持たない「第三の平和拠点」の創出でした。

Map その場所については、被爆地でもなく被爆者もないが原爆に関係のある場所として、広島と長崎の中間点にある福岡県築上郡上毛町(コウゲマチ)を選びました。町長や町議会などに説明・提案し、町をあげての賛同を得て、「広島・長崎爆心地中間点上毛町ー未来へつなぐ平和の架け橋事業」として実現することになりました。

事業の発足イベントが、国連が定めた世界平和デーである2019年9月21日に開催されました。当日は上毛町民、子ども代表、関係者に加え、広島と長崎の市長、広島東南、長崎南、地元の豊前の三つのロータリークラブ会員、インター・アクト・クラブ代表など、総勢400名余りが参加。町内の大池公園で被爆樹木2世の植樹式とモニュメントの除幕式を行ったほか、げんきの杜ホールで平和記念式典が行われ、盛大な事業となりました。



植樹をする福岡県立青豊高校インターアクト部メンバーと上毛中学校生徒会メンバー

植樹式とモニュメント除幕式では、上毛町と上記の三つのロータリークラブが協力して、大池公園内の大池両岸に被爆樹木2世の苗を植樹し、それぞれ「広島の丘」と「長崎の丘」と名付けました。

また、平和の架け橋の象徴としてその両者を結ぶ地点に創られたモニュメントの除幕を行いました。

平和記念式典では、坪根秀介上毛町長が「広島・長崎爆心地中間点上毛町平和宣言」を発表しました。松井一實広島市長は、「被爆樹木2世はもの言わぬ証人であり、町の若い世代に平和を願う心を育てほしい」と述べ、また田上富久長崎市長は「仲間が増えた思いで、未来につながる取り組みを歓迎したい」と述べられました。

「被爆者の心」と題した記念講演では、私が自身の被爆体験を語りました。原爆犠牲者のせめてもの「死に甲斐」としての平和希求を語り、必死で生き抜いてきた被爆樹木の姿を紹介して、被爆者や被爆地を超えた開かれた平和運動の必要を訴えました。児童劇団「I PRAY」による創作劇では、被爆という重い現実をテーマとしながらも、平和な未来へと祈りを込めて歩もうとする姿が明るく感動的に表現されました。

広島、長崎に続く第三の平和拠点がつくられ、両被爆地と被爆者の思いを汲みながら、それを超えてさまざまな思いが交錯する開かれた平和への活動が始まります。今後は、福岡県と上毛町、ロータリークラブ等の協力で、ここに植えられた被爆樹木の苗の成長とともに、特に世界中の子どもたちや若者が自由に学び交流する拠点として大きくその意味を広げていくことを願っています。



■今後の予定

2月	02月21(金)	熊本第3グループ I M	熊本県 熊本市	A N Aクラウンプラザホテル 熊本ニュースカイ
	02月23(日)	国際奉仕のつどい	大分県 大分市	大分県消費生活・男女共同参画 プラザ「アイネス」
	02月29(土) ～ 03月01(日)	会長エレクト 研修セミナー	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル
3月	03月20(金)	RLI パートII (2)	大分県 大分市	ホルトホール大分
4月	04月05(日)	地区研修・協議会	熊本県 熊本市	熊本城ホール